

令和4年度9月～11月実施

●お問い合わせ(9:00～21:00)

TEL 022-251-1562

■休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

講座レポート

「君もプチレスキュー」 (全3回)

みんな元気で笑顔になれる「支え合い」の街づくり

鶴ヶ谷市民センター

指定管理者「仙台市教育委員会指定」

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

平成16年から始まった「君もプチレスキュー」も今年で19年目を迎えます。過去2年間は一部の開催しかできませんでしたが、今年は全学年を対象に、リモートではありますが開催することができました。

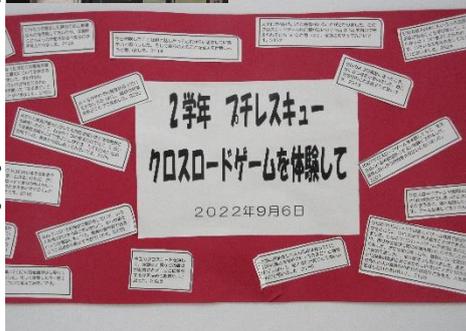
令和4年9月6日(火)第2学年 参加者 75人

「災害時に備えよう！クロスロードゲームに挑戦」

あなたは〇〇です。で始まる設問に「YES」「NO」で答えるクロスロードゲーム。阪神・淡路大震災の記録から生まれたこのゲームは、正解のないゲームです。答えを選び、選んだ理由をクラス内で発言することで、お互いの意見を聞き、考え、共感することができました。

【参加者の感想】

- ・今回正解がない問題を考え、いろいろな回答があることがわかった。
- ・友達の意見を聞いて、自分の価値観が少しわかったような気がした。
- ・普段考えなかったことを考えることができた。災害時の知識を身に付けることができた。
- ・実際に起きた事を基に作られているので、リアリティがある。



令和4年10月4日(火)第3学年 参加者 74人

「災害時に備えよう！クロスロードゲームに挑戦」

3年生にとっては、初めてのプチレスキュー！是非卒業までに一度は経験して頂きたいということで、学校と相談して、2年生と同じ「クロスロードゲーム」を一部問題を変更し、実施しました。

「あなたは受験生です。」で始まる市民編の問題は今の3年生にピッタリ！「避難所を手伝うか？」「受験勉強に専念するか？」の質問に悩みながら選択していました。

【参加者の感想】

- ・YESとNO、両方のメリット・デメリットを考えることが出来た。
- ・色々な意見が出て、とても楽しかった。家族と一度やってみたい。
- ・最初は自分優先で考えていたけど、途中から周りのことも考えることができ、良かった。
- ・違う意見の人、同じ意見でも理由が違う人色々な意見や価値観を知ることができた。



令和4年11月8日(火)第1学年 参加者 72人

「自分の住んでいるところの災害をハザードマップから考え、 マイ・タイムラインを作ろう」

ハザードマップで浸水想定地域が少ない鶴ヶ谷。しかし将来どんな地域で生活するのかわからないということで、最初に自分の住んでいる地域を確認してから、仮想の設定を基にマイ・タイムラインを作成しました。

【参加者の感想】

- ・災害の危険性をこの学習を通してあらためて考えた。
- ・家族で災害時、何処に避難するか話し合ってみようと思った。
- ・マイ・タイムラインを作成し少し難しいと感じたが、最後まできちんと作ることができて良かった。
- ・今日の授業でしっかり災害に備えることは、大事な事だと思った。

